

SALVADOR

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会報

代表：松本敏之、大倉一郎
事務局：横浜港南台教会 中沢 譲
〒234-0054 横浜市港南区港南台 7-8-29
Tel 045-833-5323 Fax 045-833-6616
郵便振替口座番号：00210-2-97571

愛は忍耐強い

小井沼眞樹子

Feliz Natal! (メリークリスマス!)

この12月末をもってサルバドルでの第1任期が終わろうとしています。この間、多くの皆さまのお祈りとご支援によって支えられ、歩んでまいりました。心から感謝申し上げます。

「石の上にも三年」とは、よく表現したものだと思います。小さな宣教師も、度々この言葉を胸に刻みながら3年間過ごしてきました。けれども、この忍耐の期間が同時に教会員相互の信頼と友愛を育んできたことは確かです。表記のパウロのことばに慰められ、感謝しつつ、3年間の宣教生活を振り返ってみたいと思います。

☆出会った現実

ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会は、広範な貧困住宅地の一角に存在し、会堂は高台に建てられています。その地区の住人2名の高齢信徒(最近1名召天)は階段の昇降が難しく、また新しい参会者を期待することもできません。牧師がいなかった時代には、長老のジルライニさんがひとりで教会を続けてきたのです。その他のメンバーは遠方に住んでいて参加は不定期、教会の宣教を担っていく働き手が本当に足りない小さな教会です。私の赴任の一年前に就任したダゴベルト牧師も住まいは遠くにあつて、病弱な妻の介護もあり、教会に来るのは日曜日と、水曜日だけです。

教会の集会は日曜日の午前中に教会学校と礼拝があり、水曜日には洋裁教室をしています。礼拝が終わると皆、スーツと散会していき、お互いの生活を分かち合う交わりの不足を感じました。教会の主要な事柄を取りきめる定期的な会議も行われず、いつも物事が、よく言えば臨機応変に運ばれていました。

このように、働き人も、経済力も、交わりも、組織化も乏しい教会に、神様は私を遣わされたのです。けれども信仰の灯は消えていませんでした。すでに旅立った先人たちの信仰を受け継ぎ、この地域に建てられた教会の使命をなんとか果たしたいと望んでいました。



1月28日、教会の創立記念日に

☆取り組んできたこと

- ・毎月一回礼拝説教を担当。
- ・長老会を開き、教会の将来を考えて、新会堂建設案を立ち上げ、募金活動を開始した。
- ・週報、その他のイベント案内の作成、印刷。
- ・子どもが来たとき、子どもの教会学校を担当。
- ・水曜日の午前中、信徒の家庭を訪問。午後には祈禱会を持つことが定着した。
- ・話し合つて物事を決定し、実施するようになり、計画性、協働性が少しずつ育ってきた。
- ・母の日、子どもの日、ナタールの祝祭に地域の人々、子どもたちを招待した。



10月、「子どもの日」祝会に集まった子どもたちと

小井沼眞樹子宣教師の宣教報告
宣教期間 2016年2月—2018年12月



ヴァレリオ・シルヴァ
合同長老教会

牧師ダゴベルト・ペレイラ

1. 毎月1度礼拝説教を担当し、ダゴベルト牧師と共同して聖餐式を執行しました。み言葉の宣教と聖霊のとりなしによって教会の一致が促進しました。
2. 子どもの教会学校の先生を務めました。マキコ師は子どもたちからとても慕われ、ジャッパ先生（日本人先生）と呼ばれ尊敬されています。
3. 水曜日の社会活動（洋裁教室）に協力し、午後には祈禱会に参加しました。
4. 地域在住の教会員の家庭集會に参加し、高齢者や病人の家をよく訪問しました。
5. 教会歴に即した礼拝式文とお知らせ、誕生者名などを含む週報の作成に尽力しました。
6. 長老会への協力：宣教姿勢を明確にして、メンバーの尊厳や個性を大切にしながら率直に話し合い、物事を決定できるようになりました。
7. 新会堂建設プロジェクト：周辺地域への使命を果たすために、新会堂建設と地区センターの改築案を立ち上げ、マキコ師はそのために募金活動に尽力しました。
8. ヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会の代表として、サルバドール教区総会やブラジル合同長老教会定期総会に参加しました。
9. 他教会との交わり：異なる教派や他教会と積極的に交わり、特に楽器演奏を通してエキュメニズムの推進に貢献しました。

最後に：小井沼眞樹子宣教師は謙遜かつ明快な態度で「神の国」の建設を強く望み、ブラジル、バイーア州のサルバドールにある合同長老教会の成長に貢献しています。



3年間を振り返って

長老ジルライニ・ゴメス

マキコ牧師と共に過ごした3年間を通して、心に刻まれたことを挙げてみます。

- ・教会に参加できなくなった会員の家庭訪問
- ・子どもたちへの奉仕
- ・水曜日の社会活動（洋裁教室）への協力
- ・祈禱会への参加
- ・教会学校と礼拝によい奉仕をしたこと。
- ・すべての教会員に対する牧会的配慮
- ・新会堂建設と地区センターのリフォームのために、日本から沢山の尊い献金をとりついでたこと。

マキコ牧師が私たちの教会に共にいてくださることは大きな祝福であり、希望へと導いています。
（日本語訳：小井沼）

☆新たな会堂建築プロジェクトについて

前号の会報でお知らせしましたように、道路と同じ平面に新会堂を立ち上げる当初の計画は、立ち木伐採許可を得るために2年間市当局と交渉し、カーニバル明けまで待っても実施されなかったため、廃棄せざるを得なくなりました。

仕切りなおして、市政府からの許可を必要としない新案を次のように立ち上げました。

現在の会堂に隣接する土地に、2棟の教育施設が建てられています。もう長い間、ヴァレリオ教会はこの施設を使用して教育活動をするのではなく、ある個人保育者に貸与していました。けれども、その保育活動も細々としたもので、最近では賃貸料の滞納が続いていました。

この土地には、教会の前にある急こう配の階段を上らなくても、脇道から坂を登って到達することができます。また前面には駐車場を確保する



左側の塀の中にある教育施設と駐車場のスペース

だけのスペースもあり、車で登って来ることが可能です。また、教会の私有地ですから建設工事に市の許可は必要ありません。私たちはそこに目をつけたのです。

設計図ができ上がってきたのは、7月初旬。それから待つこと4ヶ月あまり、11月中旬にやっと詳細な見積もりが上がってきて、この会報に掲載できますことを、喜んでいました。2階建て教会建造物の建築総額は **402.000 レアイス(約 1200 万円)** それに、旧建造物の解体工事と駐車場の建設費用を合わせ、さらに現在の教会堂と地区センターのリフォーム費用を加えますと、50万レアイス以上になるでしょう。つまり、前案の募金目標額とほぼ同じとなる見通しです。これまでの3年間に日本国内外から寄せられた献金額は、**273.850 レアイス**。ありがとうございます！

なお、任期は **2019年2月～2021年12月**まで更新されました。引き続き、お祈りとご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

新会堂建築総額の見積	R\$402.000,00
旧建造物の解体+駐車場の新設費用	
現会堂と2階のリフォーム費	
必要経費総額	R\$500.000,00+?
現時点での献金額	R\$273.850,00
(1リアル=29円に換算 7,941,650円)	

サルバドール訪問記

神戸栄光教会牧師 野田和人

1984年の新婚旅行後、1、2度訪れたことがあるが、20数年ぶりのサルバドール。その国際空港で恐る恐る声をかけてくださった初対面のダゴベルト牧師に、顔をこわばらせて恐る恐る答えかけた私の耳に「マキコ牧師の友人か」との声。顔を一気にほころばせて「そうだ」と答えると「実は私もマキコを捜しているんだ」との言葉が終わらないうちに後ろから「ごめん、ごめん、遅れちゃって」と眞樹子先生登場。一気に打ち解けた再会から一泊二日のサルバドール滞在が始まった。

着いた土曜日の夜は、奉仕活動を通して眞樹子先生と関係のある「トリンダージ(三位一体)共同体」を訪れた。2000年からフラ

ンス人のエンリケ修道士たちが立ち上げた、その共同体の皆さん30人程と食事をした後、教皇フランシスコが制定した「世界貧者の日」に連動したトリンダージ教会の祈祷集会に80人程の人たちと一緒に参加することができた。ロウソクの炎を通して闇から光へと向けられた賛美と証しと祈りの礼拝は、神聖で力強く、賛美が祈りであることを改めて実感させるものだった。



そして、それは日曜日朝のヴァレリオ・シルヴァ合同長老教会での礼拝でも十分感じることができた。ヨナ書を通して、神さまの救いの計画は必ず実現するとのダゴベルト牧師のわかりやすく力強い説教が、賛美の力を後押ししていた。礼拝の中で誕生者の祝福もあったので24人が礼拝に集い、その後の愛餐の時も眞樹子先生と一緒にみんなで楽しく過ごすことができた。



礼拝の終わりにポ語で挨拶される野田牧師とエウザさん

それから、私にとっては大変懐かしい、港にあるメルカード・モデーロで昼食をいただき、眞樹子先生のご自宅で、彼女がかつて牧したオランダの教会が行っている教育活動への支援のお話をお聞きした。お互いに顔と顔の見える継続した支援の必要性を改めて感じつつ、空港へ向かった。

短いが充実した時間が与えられたことに心から感謝したい。

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会計報告（省略） 2018.7.1～2018.11.30

収 入

支 出

項 目	金 額	項 目	金 額
会費・特別献金		支援金	
利息		海外保険	
		事務費	
		振込手数料	
		会堂使用料	
		集会費	
小 計		小 計	
前月より繰越		次月へ繰越(通常)	
合 計		合 計	

収 入

支 出

項 目	金 額	項 目	金 額
会堂建築献金		支援金	
		振込手数料	
小 計		小 計	
前月繰越金		次月繰越金	
合 計		合 計	

年会費・特別献金 献金者名（敬称略・順不同） 2018.7.1～2018.11.30

省略（61名）

会堂建築献金 献金者名（敬称略・順不同）

省略（30名）

編集後記

愛に根ざした忍耐をもって、3年間サルバドールでの宣教生活を送られた小井沼宣教師のお働きをお伝えするために、年2回発行してまいりました「SALVADOR」も、6号となりました。このたび先生は任期を更新されて、2021年までサルバドールでの奉仕を続

けられることになり、私たち「共に歩む会」も引き続き遠く日本から活動を続けたいと願っております。これからもお祈りとご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、次号よりこの「編集後記」のコーナーはなくなる予定です。ご了承くださいませ。
（横浜港南台教会員 I.T）